

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	07	諸費	目	06	男女共同参画推進費
大	事業	051	男女共同参画推進事業	中	事業	01	男女共同参画推進事業		
小	事業	01	男女共同参画推進事業	02	女性活躍推進事業	他		事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		女性活躍推進室
総合戦略	政策パッケージ	3	女性の活躍推進		
	施策	3-2	男性の家事・育児への参画の促進		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	男女共同参画社会基本法			
根拠例規	有	坂井市男女共同参画推進条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市男女共同参画推進計画			

2.事業の目的・概要

◆男女共同参画事業

【事業の目的】
男女が性別に関わりなくあらゆる分野で個性と能力が発揮できるよう、男女共同参画に関する講座や研修会の開催、地域などへの推進啓発活動に取り組み、市民への意識の醸成を図るなど、男女共同参画社会の実現を目指す。

【事業の概要】

- 報酬 男女共同参画審議会委員 10名 270 千円
- 報償費 講座講師謝礼他、推進委員報償 265 千円
- 旅費 特別旅費（日本女性教育会館：埼玉県） 30 千円
- 需用費 啓発用物品代、推進委員会お茶代 他 344 千円
- 委託料 イベント業務委託料 2,085 千円
- 使用料 講演会会場使用料 他 75 千円
- 補助金 さかい男女共同参画ネットワーク補助金 500 千円

◆女性活躍推進事業

【事業の目的】
職業生活における女性活躍や職場のイクボス普及・推進と、参加者同士の異業種交流などを目的とした研修などを開催し、ワーク・ライフ・バランスや働きやすい職場環境の実現を目指す。

【事業の概要】

- ①女性リーダー養成事業「学び女史プログラム」
 - 委託料等 女性リーダー養成講座委託料 他 1,103 千円
- ②イクボス推進企業ネットワーク事業
 - 報償費等 講師謝礼 他 532 千円
 - 委託料 イクボス推進企業ネットワーク事業委託料 1,386 千円
- ③イクボス推進アドバイザー・講師派遣事業
 - 委託料 アドバイザー・講師派遣業務委託料 1,000 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■坂井市版キッズニア （市内小学生が、市内企業の仕事体験や地域の人達と触れ合うことで、多様な働き方を学ぶとともにふるさと意識の醸成を図る）</p>
----------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	7,590	3,790	1,712	3,800
	人件費	21,722	15,574	16,493	6,148
	総事業費	29,312	19,364	18,205	9,948
人員	正職員	3.10 人	2.32 人	2.32 人	0.78 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	3.10 人	2.32 人	2.32 人	0.78 人
財源内訳	国県支出金	1,594	607	266	987
	その他特定財源	1,673	1,124	0	549
	一般財源	26,045	17,633	17,939	8,412

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	独自指標	お仕事体験参加者数	目標			1,000		
			実績			1,000		
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
指標の説明		H29実績：お仕事体験に参加した小学生の人数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	2日間で用意した31のお仕事に1,000人が参加し目標を達成した。また、同会場の大ホールで環境推進課による「こどもエコひろば」も開催され、お仕事体験の対象である小学生以外にも未就学児とその家族が多く集った結果、全体で6,000人が来場し幅広い子どもたちの『学びの場』となった。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	妥当性に課題	
これまでの見直しや改善等の実績	坂井市近隣には男女ともやりがいを持って働くことができる仕事や企業が数多くある一方で、その魅力を知る機会がないまま、将来の職業を選択してしまうことが課題である。そのため、早い時期から将来の職業について考える機会を創出し、市内で働くことの魅力に加えて、ふるさと意識や男女共同参画・女性活躍意識の醸成を目的に、市内小学生を対象にお仕事体験イベントを実施する。 地方創生推進交付金を活用した平成29年度の新たな取り組みである。		

6.今後の方向性

短期的な方向性	完了		中長期的な方向性	
目標年度	平成29年度		目標年度	
方向性の説明	類似する事業が民間でも実施されていることから、今後は民間主導での事業実施を促していきます。 また、市内で働くことの魅力を知る機会として、平成30年6月1日（金）～3日（日）坂井市産業フェア開催時に「なるほどさかいのものづくり博」が共同開催されています。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-2	Uターンの促進
	基本施策	1	青少年へのふるさと意識の醸成			
総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	3	女性の活躍推進	施策	3-2	男性の家事・育児への参画の促進
	基本施策	3	男性向けの実践的な育児講座の開催			
実施事業名(小事業)	男女共同参画推進事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> • おしごと体験やものづくりなど体験型イベントは集客力が高い。 • 体験型のイベントは、ふるさと愛や男女共同参画・女性活躍の意識を高めていく方法として大変有効的である。 • 単独課で実施するのではなく、他課や事業所・団体等と連携して取り組み、広く市民に対して啓発を展開していく。 • 財源がなくなったときの新たな仕組みづくり。 民間が自己財源を投入してでもやりたくなる事業の持ちかけ 					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	07	諸費	目	06	男女共同参画推進費
大	事業	051	男女共同参画推進事業	中	事業	01	男女共同参画推進事業		
小	事業	01	男女共同参画推進事業	02	女性活躍推進事業	他		事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		女性活躍推進室
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-1	結婚支援の充実		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	男女共同参画社会基本法			
根拠例規	有	坂井市男女共同参画推進条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市男女共同参画推進計画			

2.事業の目的・概要

◆男女共同参画事業

【事業の目的】
男女が性別に関わりなくあらゆる分野で個性と能力が発揮できるよう、男女共同参画に関する講座や研修会の開催、地域などへの推進啓発活動に取り組み、市民への意識の醸成を図るなど、男女共同参画社会の実現を目指す。

【事業の概要】

○報酬	男女共同参画審議会委員 10名	270 千円
○報償費	講座講師謝礼他、推進委員報償	265 千円
○旅費	特別旅費（日本女性教育会館：埼玉県）	30 千円
○需用費	啓発用物品代、推進委員会お茶代 他	344 千円
○委託料	イベント業務委託料	2,085 千円
○使用料	講演会会場使用料 他	75 千円
○補助金	さかい男女共同参画ネットワーク補助金	500 千円

◆女性活躍推進事業

【事業の目的】
職業生活における女性活躍や職場のイクボス普及・推進と、参加者同士の異業種交流などを目的とした研修などを開催し、ワーク・ライフ・バランスや働きやすい職場環境の実現を目指す。

【事業の概要】

- 女性リーダー養成事業「学び女史プログラム」
 - 委託料等 女性リーダー養成講座委託料 他 1,103 千円
- イクボス推進企業ネットワーク事業
 - 報償費等 講師謝礼 他 532 千円
 - 委託料 イクボス推進企業ネットワーク事業委託料 1,386 千円
- イクボス推進アドバイザー・講師派遣事業
 - 委託料 アドバイザー・講師派遣業務委託料 1,000 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■思春期におけるライフプラン教育 (中高生を対象とした結婚や子育てをすることの喜び等を伝える学習会を行う)</p>
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	7,590	3,790	1,712	3,800
	人件費	21,722	15,574	16,493	6,148
	総事業費	29,312	19,364	18,205	9,948
人員	正職員	3.10 人	2.32 人	2.32 人	0.78 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	3.10 人	2.32 人	2.32 人	0.78 人
財源内訳	国県支出金	1,594	607	266	987
	その他特定財源	1,673	1,124	0	549
	一般財源	26,045	17,633	17,939	8,412

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	「赤ちゃん抱っこ体験学習」実施学校数	校	目標	5.0	5.0	5.0		
			実績			3.0		
		達成率(%)	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	
指標の説明		H29実績：市内3中学校（丸岡、丸岡南、三国中学校）						
指標	「赤ちゃん抱っこ体験学習」参加者数	人	目標	500	500	500		
			実績			519		
		達成率(%)	0.0	0.0	103.8	0.0	0.0	
指標の説明		H29実績：市内3中学校の参加した中学2年生						
指標		人	目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	体験学習参加者数が目標を超え評価している							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 中学生の事業後の表情やコメント等から男女共同参画への意識向上の手応えを得た一方で、参加親子とボランティアの確保が課題。 意識の変化を統計的に把握する手法の確立
これまでの見直しや改善等の実績	平成27年から体験学習支援ボランティア「ONLY ONE ♡」が子育ての喜びや命の尊さ、家族の絆の大切さを学ぶことを目的に丸岡中学校・丸岡南中学校の中学2年生を対象に実施していた活動を、今年度より男女共同参画意識の醸成も目的とし、三国中学校も加えた市内3つの中学校で女性活躍推進室との共催で実施した。

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	平成30年度は市内5つの全中学校で実施する。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-1	結婚支援の充実
	基本施策	1	青少年への結婚・妊娠・出産・子育てに対する意識啓発			
実施事業名(小事業)	男女共同参画推進事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> 参加親子やボランティアスタッフを集めることに大変時間を要する。 ボランティアスタッフのネットワークの構築や、出産後の母親等へ周知方法を工夫する必要がある。 当事業による中学生の意識の変化の把握方法を検討する必要がある。 アンケート等					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	07	諸費	目	06	男女共同参画推進費
大事業	051	男女共同参画推進事業			中事業	01	男女共同参画推進事業		
小事業	01	男女共同参画推進事業			02	女性活躍推進事業		他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり		所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進			女性活躍推進室
総合戦略	政策パッケージ	3	女性の活躍推進			
	施策	3-3	多様な働き方の実現を支援			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	男女共同参画社会基本法				
根拠例規	有	坂井市男女共同参画推進条例、同条例施行規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市男女共同参画推進計画				

2.事業の目的・概要

◆男女共同参画事業

【事業の目的】
男女が性別に関わりなくあらゆる分野で個性と能力が発揮できるよう、男女共同参画に関する講座や研修会の開催、地域などへの推進啓発活動に取り組み、市民への意識の醸成を図るなど、男女共同参画社会の実現を目指す。

【事業の概要】

○報酬	男女共同参画審議会委員	10名	270 千円
○報償費	講座講師謝礼他、推進委員報償		265 千円
○旅費	特別旅費（日本女性教育会館：埼玉県）		30 千円
○需用費	啓発用物品代、推進委員会お茶代 他		344 千円
○委託料	イベント業務委託料		2,085 千円
○使用料	講演会会場使用料 他		75 千円
○補助金	さかい男女共同参画ネットワーク補助金		500 千円

◆女性活躍推進事業

【事業の目的】
職業生活における女性活躍や職場のイクボス普及・推進と、参加者同士の異業種交流などを目的とした研修などを開催し、ワーク・ライフ・バランスや働きやすい職場環境の実現を目指す。

【事業の概要】

①女性リーダー養成事業「学び女史プログラム」			
○委託料等	女性リーダー養成講座委託料 他		1,103 千円
②イクボス推進企業ネットワーク事業			
○報償費等	講師謝礼 他		532 千円
○委託料	イクボス推進企業ネットワーク事業委託料		1,386 千円
③イクボス推進アドバイザー・講師派遣事業			
○委託料	アドバイザー・講師派遣業務委託料		1,000 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■市内企業との連携によるイクボス推進 (セミナーや交流会に開催により、スキルアップを図るとともに、企業間のネットワーク構築や情報交換の場を創出する)</p>
----------	---

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	7,590	3,790	1,712	3,800
	人件費	21,722	15,574	16,493	6,148
	総事業費	29,312	19,364	18,205	9,948
人員	正職員	3.10 人	2.32 人	2.32 人	0.78 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	3.10 人	2.32 人	2.32 人	0.78 人
財源内訳	国県支出金	1,594	607	266	987
	その他特定財源	1,673	1,124	0	549
	一般財源	26,045	17,633	17,939	8,412

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
KPI	イクボス宣言企業事業所数 (31年度末までに50事業所)	企業	目標	50	35	25	20	
		実績			53	38		
	達成率(%)	0.0	0.0	212.0	190.0	0.0		
指標の説明		計画期間内の累計 (H29：15社、H28：38社)						
KPI	イクボス推進企業ネットワーク参加者数 (31年度末までに60人)	人	目標	60	30	10		
		実績			19			
	達成率(%)	0.0	0.0	190.0	0.0	0.0		
指標の説明		計画期間内の累計 (H28：19人)						
KPI	イクボスセミナー参加者数 (31年度末までに600人)	人	目標	600	400	250	100	
		実績			350	200		
	達成率(%)	0.0	0.0	140.0	200.0	0.0		
指標の説明		計画期間内の累計 (H29：150人、H28：200人)						
KPI	くるみん認定企業数	%	目標	10.0	8.0	6.0	4.0	2.0
		実績			2.0	2.0	1.0	
	達成率(%)	0.0	0.0	33.3	50.0	50.0		
指標の説明		計画期間内の累計 (H28：1社、H27：1社)						
指標に基づく評価		イクボス関係のKPIは、目標値を達成しており評価する。一方でくるみん認定企業数は、平成31年度に向けて順調に進捗しているとはいいがたく、課題の洗い出し等要						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	<p>新たに15社がイクボス宣言を行い、市内の宣言企業は53社となった。さらに推進するための他機関との連携手法が課題。また、宣言をきっかけにさらに具体的かつ真剣に推進する事業所の増加が課題</p> <p>くるみん認定企業は、国の制度であり、市の事業が直接的にKPIに結びつきにくく連動性の検討要</p> <p>イクボスセミナーでは、講演会だけでなく、先進事例の紹介ほかイクボス推進企業ネットワークや学び女史プログラムの受講者が成果を発表する報告会やトークセッションも併せて行った。</p>		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	<p>事業所だけでなく、農業・漁業等の分野で働く女性リーダーの育成や女性の起業を応援する取り組みを、他課や団体等と連携しながら実施していく。</p> <p>イクボス宣言企業を応援・支援する方法を提案していく。</p>				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-2	妊娠・出産支援の充実
	基本施策		(4) 企業の理解促進			
総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	3	女性の活躍推進	施策	3-2	男性の家事・育児への参画の促進
	基本施策		(1) 男女共同参画意識の啓発、(2) 男性の育児休業取得の促進			
総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	3	女性の活躍推進	施策	3-3	多様な働き方の実現を支援
	基本施策		(2) 柔軟な就労形態の実現			
実施事業名(小事業)	女性活躍推進事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>・事業所の働き方改革への意識が低く、意欲を持って積極的に参加する事業所の確保が困難であった。</p> <p>・受講者の意識が上がっても、職場の上司の意識が低い事業所では何も改善されない事業所が多く見受けられ、上司の意識を改革するセミナー等のが必要性を感じた。</p> <p>・人の意識を変えるためには、一つのアプローチだけでは多くの賛同を得ることが難しいと感じており、多角的に様々なタイプの講師の確保が必要である。</p> <p>また、行政からの仕掛けだけでは人の意識を変えることへの限界を感じており様々な連携が必要と感じている。</p> <p>・イクボス宣言により、スタートラインに立った事業所はある程度確保しつつあるため、さらに会社全体で意識をかえるための仕掛けが必要である。</p> <p>【気づきを踏まえての今後に向けた検討】</p> <p>三国公共安定所とのさらなる連携</p> <p>市のセミナーをきっかけとし、先進的となった企業をモデル企業とし、会社同士が啓発し合ったり、会社が会社をレクチャーする仕組みへづくりへのチャレンジ</p>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	07	諸費	目	06	男女共同参画推進費
大事業	051	男女共同参画推進事業			中事業	01	男女共同参画推進事業		
小事業	01	男女共同参画推進事業			02	女性活躍推進事業		他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり		所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進			女性活躍推進室
総合戦略	政策パッケージ	3	女性の活躍推進			
	施策	3-1	女性の雇用の促進			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	男女共同参画社会基本法				
根拠例規	有	坂井市男女共同参画推進条例、同条例施行規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市男女共同参画推進計画				

2.事業の目的・概要

◆男女共同参画事業

【事業の目的】

男女が性別に関わりなくあらゆる分野で個性と能力が発揮できるよう、男女共同参画に関する講座や研修会の開催、地域などへの推進啓発活動に取り組み、市民への意識の醸成を図るなど、男女共同参画社会の実現を目指す。

【事業の概要】

○報酬	男女共同参画審議会委員 10名	270 千円
○報償費	講座講師謝礼他、推進委員報償	265 千円
○旅費	特別旅費（日本女性教育会館：埼玉県）	30 千円
○需用費	啓発用物品代、推進委員会お茶代 他	344 千円
○委託料	イベント業務委託料	2,085 千円
○使用料	講演会会場使用料 他	75 千円
○補助金	さかい男女共同参画ネットワーク補助金	500 千円

◆女性活躍推進事業

【事業の目的】

職業生活における女性活躍や職場のイクボス普及・推進と、参加者同士の異業種交流などを目的とした研修などを開催し、ワーク・ライフ・バランスや働きやすい職場環境の実現を目指す。

【事業の概要】

①女性リーダー養成事業「学び女史プログラム」

○委託料等	女性リーダー養成講座委託料 他	1,103 千円
-------	-----------------	----------

②イクボス推進企業ネットワーク事業

○報償費等	講師謝礼 他	532 千円
○委託料	イクボス推進企業ネットワーク事業委託料	1,386 千円

③イクボス推進アドバイザー・講師派遣事業

○委託料	アドバイザー・講師派遣業務委託料	1,000 千円
------	------------------	----------

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■女性リーダー育成の支援 （企業等で働く女性を対象に、女性が活躍するために必要な知識やスキルを習得する研修等を開催する）</p> <p>■子育て両立支援</p>
----------	---

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	7,590	3,790	1,712	3,800
	人件費	21,722	15,574	16,493	6,148
	総事業費	29,312	19,364	18,205	9,948
人員	正職員	3.10 人	2.32 人	2.32 人	0.78 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	3.10 人	2.32 人	2.32 人	0.78 人
財源内訳	国県支出金	1,594	607	266	987
	その他特定財源	1,673	1,124	0	549
	一般財源	26,045	17,633	17,939	8,412

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
KPI	女性活躍推進講座等実施回数（31年度末までに20回）	回	目標	20	15	10	5	
			実績			10	4	
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	80.0	0.0	
指標の説明		計画期間内の累計（H29：6回、H28：4回）						
KPI	（県）「女性活躍推進企業」登録数	企業	目標	25	25	25	25	25
			実績			19	17	
		達成率(%)	0.0	0.0	76.0	68.0	0.0	
指標の説明								
KPI	一時預かり事業実施施設数	企業	目標	30	30	30	30	30
			実績			15	16	16
		達成率(%)	0.0	0.0	50.0	53.3	53.3	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	女性リーダー養成講座「学び女史プログラム」（全6回）を市内事業所で働く女性29人を対象に開催した。継続して開催することで、女性の活躍を支え促進するためのネットワークを構築することができた。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	女性が活躍しやすい時代となった今、自分らしい生き方を考え、仕事も家庭も大事にできる心構えやテクニック、また女性リーダーに期待される役割や能力について学び、ワンランク上の“女史”を目指してもらうことを目的に開催。また研修を通じて異業種の女性社員とのネットワークづくりや、既存の女性リーダーの体験発表を聞き、他企業の女性とディスカッションしていく中で、女性リーダーを身近に感じてもらい自信につなげてもらう。		
平成29年度から実施。			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度	平成30年度	目標年度	平成31年度
方向性の説明	平成31年度までは内容を工夫して実施予定。平成30年度は講座受講者の1期生と2期生の合同研修会を開催しネットワークの基盤構築を図る。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	3	女性の活躍推進	施策	3-1	女性の雇用の促進
実施事業名(小事業)	基本施策		(2)女性リーダーの育成支援、(3)働き続けられるための環境整備			
事業で得られたノウハウや気づき等	女性活躍推進事業					
<p>• 働き方改革やイクボスの普及も目的としているため。業務時間中の参加としている。受講したくてもできない場合もあるため、勤務時間外の開催も検討し、より多くの女性へ学びの機会を提供することも考えていく。</p>						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	07	諸費	目	06	男女共同参画推進費
大	事業	051	男女共同参画推進事業	中	事業	01	男女共同参画推進事業		
小	事業	01	男女共同参画推進事業	02	女性活躍推進事業	他		事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		女性活躍推進室
総合戦略	政策パッケージ	3	女性の活躍推進		
	施策	3-2	男性の家事・育児への参画の促進		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	男女共同参画社会基本法			
根拠例規	有	坂井市男女共同参画推進条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市男女共同参画推進計画			

2.事業の目的・概要

◆男女共同参画事業

【事業の目的】
男女が性別に関わりなくあらゆる分野で個性と能力が発揮できるよう、男女共同参画に関する講座や研修会の開催、地域などへの推進啓発活動に取り組み、市民への意識の醸成を図るなど、男女共同参画社会の実現を目指す。

【事業の概要】

○報酬	男女共同参画審議会委員 10名	270 千円
○報償費	講座講師謝礼他、推進委員報償	265 千円
○旅費	特別旅費（日本女性教育会館：埼玉県）	30 千円
○需用費	啓発用物品代、推進委員会お茶代 他	344 千円
○委託料	イベント業務委託料	2,085 千円
○使用料	講演会会場使用料 他	75 千円
○補助金	さかい男女共同参画ネットワーク補助金	500 千円

◆女性活躍推進事業

【事業の目的】
職業生活における女性活躍や職場のイクボス普及・推進と、参加者同士の異業種交流などを目的とした研修などを開催し、ワーク・ライフ・バランスや働きやすい職場環境の実現を目指す。

【事業の概要】

①女性リーダー養成事業「学び女史プログラム」		
○委託料等	女性リーダー養成講座委託料 他	1,103 千円
②イクボス推進企業ネットワーク事業		
○報償費等	講師謝礼 他	532 千円
○委託料	イクボス推進企業ネットワーク事業委託料	1,386 千円
③イクボス推進アドバイザー・講師派遣事業		
○委託料	アドバイザー・講師派遣業務委託料	1,000 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画啓発講座 ■男女共同参画啓発（図画、ポスター、川柳募集）
----------	--

3.事業のコスト (単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	7,590	3,790	1,712	3,800
	人件費	21,722	15,574	16,493	6,148
	総事業費	29,312	19,364	18,205	9,948
人員	正職員	3.10 人	2.32 人	2.32 人	0.78 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	3.10 人	2.32 人	2.32 人	0.78 人
財源内訳	国県支出金	3,268	607	266	2,661
	その他特定財源	0	1,124	0	△ 1,124
	一般財源	26,044	17,633	17,939	8,411

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	男女共同参画出前講座・活動数	件	目標	20	20	20	30	30
			実績			15	13	18
		達成率(%)	0.0	0.0	75.0	43.3	60.0	
指標の説明		推進委員による出前講座の開催回数						
指標 独自指標	男女共同参画啓発出前講座受講者数	人	目標	400	400	400	500	600
			実績			359	389	585
		達成率(%)	0.0	0.0	89.8	77.8	97.5	
指標の説明		推進委員による出前講座の受講者数						
指標 独自指標	審議会等に占める女性委員率	%	目標	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
			実績			30.5	31.5	30.0
		達成率(%)	0.0	0.0	76.3	78.8	75.0	
指標の説明		男女共同参画推進計画に掲げる女性委員登用の目標（31年度末）						
指標 独自指標	女性のいない審議会・委員会等の解消	数	目標	0	0	0	0	0
			実績			6	7	8
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		男女共同参画推進計画に掲げる女性委員登用の目標（31年度末）						
指標に基づく評価		男女共同参画推進計画（24年度改定）に掲げている目標「審議会・委員会等委員への女性登用率40%以上の審議会等」は全体の31.3%で、目標到達していない。女性委員のいない審議会・委員会等の解消については、年々減少の傾向にあり女性委員0の解消に努めている。女性委員の登用率の向上となるよう、目標達成に向けて積極的に取り組んでいく。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 男女共同参画推進会の委員による啓発活動や出前講座など積極的に取り組んできているが、地域での啓発推進が進んでいない。庁内全所管課へ審議会等の改選時における女性の登用について積極的な取組みを依頼し、女性委員登用の推進に努めた。
これまでの見直しや改善等の実績	30年度から地域での推進を促進するために、23の全ての地域からパイプ役として委員を選任することとした。

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	男女共同参画推進委員がパイプ役となり、まちづくり協議会主催や地域のニーズに合わせた取り組みの中で事業を考え実施していくことで、地域で活躍する女性を増やし、区長やまち協会長への女性登用につなげていく。事業所だけでなく、農業・漁業等の分野で働く女性リーダーの育成や女性の起業を応援する取り組みを、他課や団体等と連携しながら実施していく。参画センターは男女共同参画の拠点としての位置づけとあわせ、包括的な取り組みを検討する。第2次推進計画は平成32年3月に策定予定。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	3	女性の活躍推進	施策	3-2	男性の家事・育児への参画の促進
	基本施策		(1)男女共同参画意識の啓発			
実施事業名(小事業)	男女共同参画推進事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の働き方改革への意識が低く、ニーズに合わなくて参加事業所を集めるのが困難であった。 受講者の意識が上がっても、職場の上司の意識が低い事業所では何も改善されない状況であった。同時に、上司の意識を改革するセミナー等が必要である。 働き方改革をすすめるための講師やアドバイザーがまだまだ少ないと感じる。講師等の育成が必要である。 					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	07	諸費	目	08	男女交流促進費
大事業	051	結婚サポート事業			中事業	01	結婚サポート事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり		所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進			女性活躍推進室
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策			
	施策	2-1	結婚支援の充実			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 未婚率の上昇・晩婚化が進む中、男女の出会いの場を提供することを目的に、各関係機関と連携し出会いをサポートする。

【事業の概要】

○報償費	イベント講師謝礼	270 千円
○需用費	消耗品、チラシ・ポスター印刷代 他	158 千円
○役務費	参加者傷害保険料	13 千円
○委託料	新たな出会い応援共催事業委託料 (委託先：坂井市商工会、一般社団法人竹田文化共栄会)	800 千円
○使用料	有料道路通行料	2 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■若年層のライフデザイン形成の促進 (高校生等を対象に、仕事、結婚、子育てを視野に入れた将来設計の早期形成を促す)</p>
----------	---

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	1,243	2,683	1,441	△ 1,440
	人件費	6,306	2,350	2,488	3,956
	総事業費	7,549	5,033	3,929	2,516
人員	正職員	0.90 人	0.35 人	0.35 人	0.55 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.90 人	0.35 人	0.35 人	0.55 人
財源内訳	国県支出金	92	87	0	5
	その他特定財源	76	75	0	1
	一般財源	7,381	4,871	3,929	2,510

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標 独自指標	ライフデザインセミナー参加者数	人	目標	200	200	200	200	200
			実績			250		
			達成率(%)	0.0	0.0	125.0	0.0	0.0
指標の説明		H29実績：セミナーを受講した高校2年生の人数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標		人	目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標		回	目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	高校生を対象にしたライフデザインセミナーを坂井高校で実施したことにより、参加人数が目標を大きく上回る結果となった。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	結婚適齢者を対象にしたイベントには同じ人が何度も参加したり、適齢期を過ぎた参加者が多いのが現状である。適齢期になる前に、結婚や子育て、介護などを含めた人生設計を具体的に考えるきっかけとなる場の提供が必要である。イベントでは毎回カップルは成立しているが、カップル成立後の動向を把握することは困難であるのが現状である。結婚相談員や縁結びさんと連携し、成婚に至るよう支援策を考える。		
	出会いの場を提供するだけでなく、高校生を対象にしたライフデザインセミナーを坂井高校において開催し、人生の岐路となる結婚、出産、子育てをプラスとして捉え、早くから人生設計を考えてもらう機会を提供した。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	今後も関係機関・団体と連携しながら、結婚適齢者だけでなく、家庭や職場において周囲から結婚を支援する機運の醸成につながる事業を考えていく。更に、若い時期からコミュニケーション能力や社会性を育成するための取り組みを行っていく。また、家庭教育や学校での教育を通じて、結婚・出産や仕事など将来の自分のライフプランを考える機会を提供していく。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-1	結婚支援の充実
	基本施策		(1) 青少年への結婚・妊娠・出産・子育てに対する意識啓発			
実施事業名(小事業)	結婚サポート事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> 婚活イベントは、自治体が主催で開催することで、安心して参加でき結婚を考えるきっかけとなっている。 結婚につながる取り組みとして、出会いの場を提供する前に、自分を知り自分磨きをする研修などの場も併せて提供していきたい。 結婚適齢者になってからではなく、10代の早いうちから結婚、出産などを含めた人生設計を考える機会を若者やその親にも提供していくことが必要である。 大学などの将来の進路を決める前に、市の子育て支援の内容について伝え、将来は地元に戻り結婚を考える機会を提供することも必要である。 現在は、出会いの場の提供だけであるが、その後の追跡調査をするかどうかも課題である。 					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	07	諸費	目	08	男女交流促進費
大事業	051	結婚サポート事業			中事業	01	結婚サポート事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり		所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進			女性活躍推進室
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策			
	施策	2-1	結婚支援の充実			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	無					
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】		
未婚率の上昇・晩婚化が進む中、男女の出会いの場を提供することを目的に、各関係機関と連携し出会いをサポートする。		
【事業の概要】		
○報償費	イベント講師謝礼	270 千円
○需用費	消耗品、チラシ・ポスター印刷代 他	158 千円
○役務費	参加者傷害保険料	13 千円
○委託料	新たな出会い応援共催事業委託料 (委託先：坂井市商工会、一般社団法人竹田文化共栄会)	800 千円
○使用料	有料道路通行料	2 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■LINE等のSNSを活用した機会の提供 (単なる情報発信だけでなく、アンケートの実施など双方向でのやり取りによるサポートを実施する)</p>
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	1,243	2,683	1,441	△ 1,440
	人件費	6,306	2,350	2,488	3,956
	総事業費	7,549	5,033	3,929	2,516
人員	正職員	0.90 人	0.35 人	0.35 人	0.55 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.90 人	0.35 人	0.35 人	0.55 人
財源内訳	国県支出金	92	87	0	5
	その他特定財源	76	75	0	1
	一般財源	7,381	4,871	3,929	2,510

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	情報提供SNS登録者数	人	目標	200	150	100	70	50
			実績			71	42	39
			達成率(%)	0.0	0.0	71.0	60.0	78.0
指標の説明		H29実績：SNS登録者数						
指標	結婚へのきっかけ創出の事業実施数	件	目標	25	25	25	25	25
			実績			29	20	5
			達成率(%)	0.0	0.0	116.0	80.0	20.0
指標の説明		計画期間内の累計 (H29：9件、H28：15件、H27：5件)						
独自指標	イベントなどの参加人数	人	目標	300	300	300	300	300
			実績			575	477	140
			達成率(%)	0.0	0.0	191.7	159.0	46.7
指標の説明		個別サポート、交流イベントなどの参加人数						
独自指標		回	目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		SNS登録者数は、年度目標には未到達であるものの、平成27年度から順調に伸びてきており、平成31年度の200名達成に手応えを感じている。イベント参加人数は、きっかけの創出事業の増加とともに、年々増加してきており事業効果として評価している。						

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	結婚適齢者を対象にしたイベントには同じ人が何度も参加したり、適齢期を過ぎた参加者が多いのが現状である。適齢期になる前に、結婚や子育て、介護などを含めた人生設計を具体的に考えるきっかけとなる場の提供が必要である。イベントでは毎回カップルは成立しているが、カップル成立後の動向を把握することは困難であるのが現状である。		
	出会いの場を提供するだけでなく、高校生を対象にしたライフデザインセミナーを坂井高校において開催し、人生の岐路となる結婚、出産、子育てをプラスとして捉え、早くから人生設計を考えてもらう機会を提供した。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	今後も関係機関・団体と連携しながら、結婚適齢者だけでなく、家庭や職場において周囲から結婚を支援する機運の醸成につながる事業を考えていく。更に、若い時期からコミュニケーション能力や社会性を育成するための取り組みを行っていく。また、家庭教育や学校での教育を通じて、結婚・出産や仕事など将来の自分のライフプランを考える機会を提供していく。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策	施策	2-1	結婚支援の充実
	基本施策		(2)きっかけづくりの支援、(3)実践的な講座の開催			
実施事業名(小事業)	結婚サポート事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> • 婚活イベントは、自治体が主催で開催することで、安心して参加でき結婚を考えるきっかけとなっている。 • 機会の創出については、事業総数ともに参加人数は増加する手応えがあり効果に自信も持つ一方で、結婚に結び付くことまでを期待したい中、現状では追跡調査できない状況である。 • 今後は、市民が安心して相談できる結婚相談員や縁結びさんと連携した事業とすることで、結婚への結びつきまでの事業を検討したい。 • 結婚につながる取り組みとして、出会いの場を提供する前に、自分を知り自分磨きをする研修などの場も併せて提供していきたい。 • 結婚適齢者になってからではなく、10代の早いうちから結婚、出産などを含めた人生設計を考える機会を若者やその親にも提供していく必要がある。 • 大学などの将来の進路を決める前に、市の子育て支援の内容について伝え、将来は地元に戻り結婚を考える機会を提供することも必要である。 					